

祝

大阪生薬協会新年互礼会が盛大に
開催されますことを心よりお慶び
申し上げます

2019年がご参集皆様方にとりまし
て大いに発展・飛躍される素晴らし
い一年となりますよう

あわせて益々のご活躍とご健勝ご多
幸を祈念いたします。

自民党 環境部会長
衆議院議員

とかしき なおみ



お祝い

お届け台紙名『カトレア』

お届け日 01月07日午前

大阪府 大阪市 中央区 安土町 3-1-3

ヴィアーレ大阪

大阪生薬協会会長

大野 健一様

新年あけましておめでとうございます。大阪生薬協会の皆様には、お健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年4月の診療報酬改定では、報酬本体はプラスとなりましたが、薬価については1.65%の引き下げとなりました。また、いわゆる大型駅前薬局及び同一敷地内薬局の評価の適正化、調剤基本料の引き下げなど、かかりつけ薬剤師、薬局としての機能を発揮していくことへの大きな期待を示すと同時に、病院敷地内への保険薬局の設置や誘致の動きに警鐘を鳴らすものとなりました。厚生労働省は、昨年の医薬品医療機器制度部会における検討結果を踏まえ、薬機法、薬剤師法等の改正法案の提出を予定しています。団塊の世代が75歳を迎える2020年の本格的な超高齢化社会を控え、地域包括ケアシステムやセルフメディケーションを推進し、皆が安心して暮らせる長寿社会を実現していくことが求められています。皆様方の益々のご活躍・ご健勝、並びに大阪生薬協会のご繁栄をお祈り申し上げます。

平成31年1月7日

参議院議員

自民党組織運動本部 本部長代理

薬剤師 藤井 基之

すがすがしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

大阪生薬協会様には、平成27年に締結された協定に基づき、本県における薬用作物の産地化に向け、きめ細かな技術指導をはじめとして、多大なる御支援を賜っておりますことに対し、厚くお礼申し上げます。

さて、去年は、夏期の異常高温や干ばつなどにより、生産者の皆さんは苦勞が絶えなかったところですが、おかげをもちまして、本県産の薬用作物はいずれも特段の被害もなく、順調な生育であったと考えています。

とりわけ、初めての収穫を迎えたシャクヤクにつきましては、予想を上回る量を出荷できたところであり、また、2回目の出荷となるトウキ、ヒロハセネガについても、前年実績を上回るが見込まれています。

こうした成果により、県土の7割を占める中山間地域を中心に、夏季冷涼な気候を活かした薬用作物栽培への関心が一層高まってきており、引き続き、収量の向上や品質の確保、労働時間の短縮等に努め、大阪生薬協会様の期待に応える産地づくりを進めてまいりますので、今後とも、引き続き、御支援・御協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

結びに、大阪生薬協会様の今後ますますの御発展と、御参会の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成31年1月7日

山口県知事 村岡嗣政（代読）